

極点バックグラウンド曲線の編集を行う

P o l e B a c k g r o u n d E d i t o r ソフトウェア

Ver1.05M

A S Cファイルにはバックグラウンドが含まれています。

このバックグラウンドをテキストに書き出し、

エディッタやE x c e l でテキストデータを編集し、上書き後

C r e a t eすると、編集されたA S Cファイルが新たに作成されます。

2017年11月10日



*HelperTex Office*

<http://www.geocities.jp/helpertex2>

## 概要

高分子材料など、回折ピークが近接した極点測定を行うと、予期せぬバックグラウンドが測定される事がある。再度測定して最適なバックグラウンド測定を行っても、成功するか分からない。

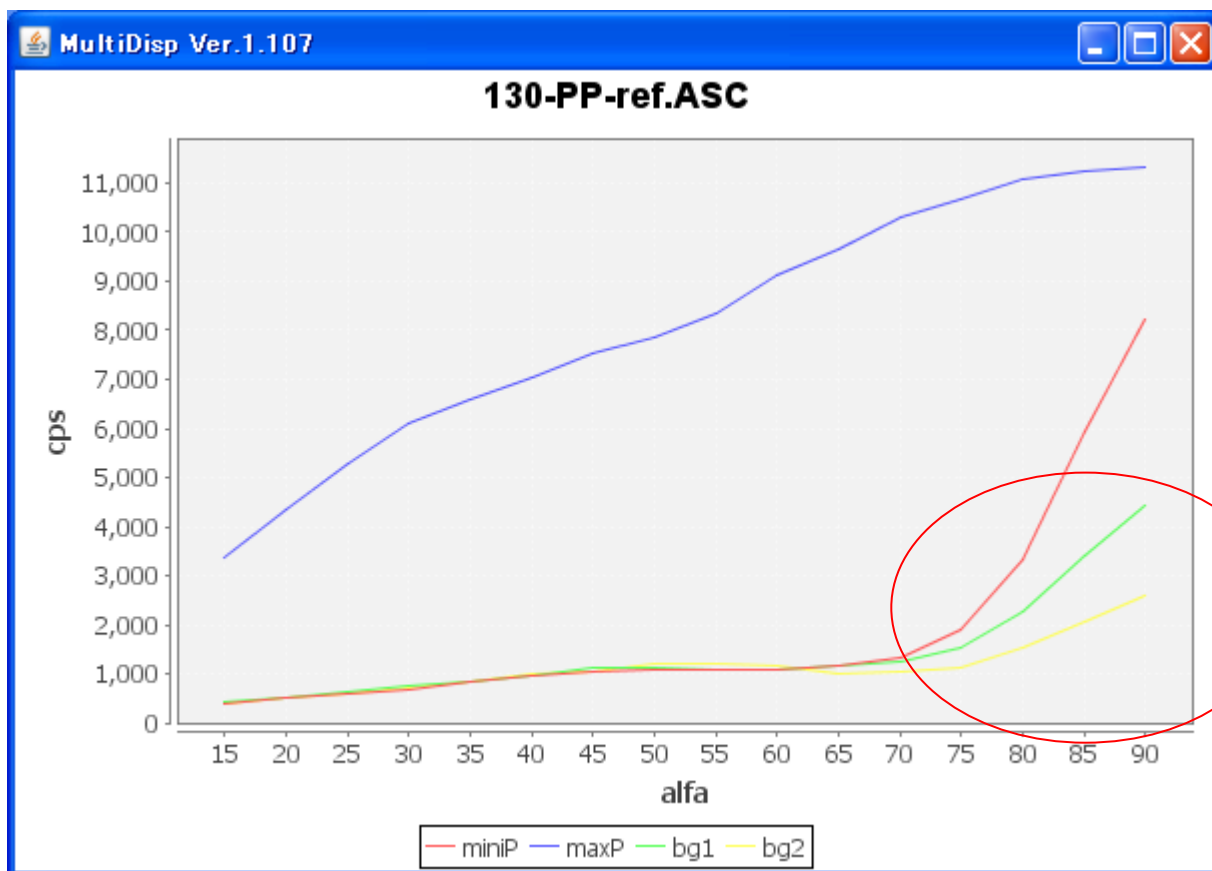
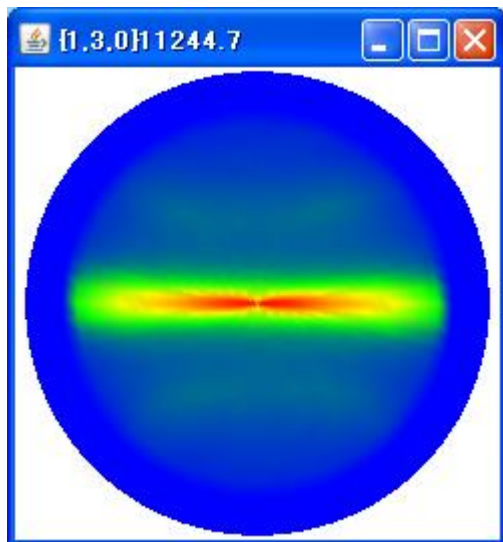
本ソフトウェアではE d i t o rを用いて、バックグラウンド曲線を編集を可能にした。

又、新たなデータ作成の為に、ピーク強度の作成、ピーク+バックグラウンド強度作成を可能にした。

高分子向けにピーク平均強度の最小値/2をバックに設定を追加

## 例

ポリプロピレンを受光スリット3mmで測定した。ODF P o l e F i g f u r eで確認

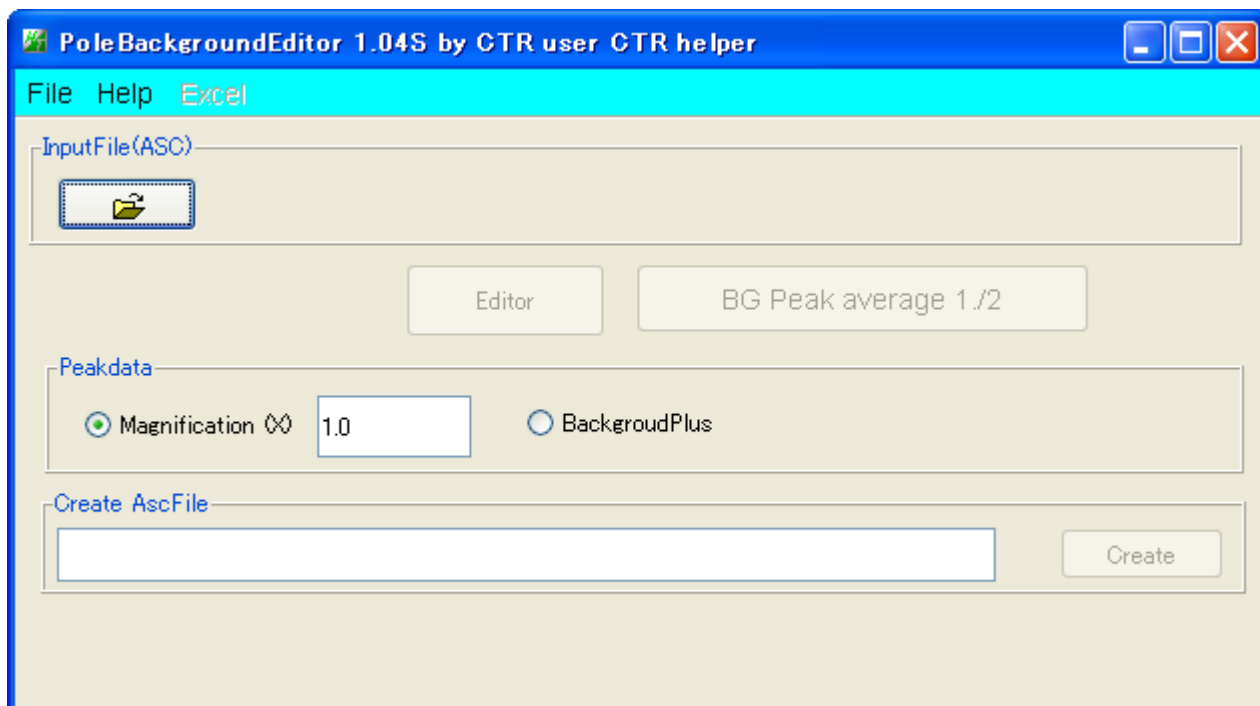


極点図の中心付近でバックグラウンドが上昇している。

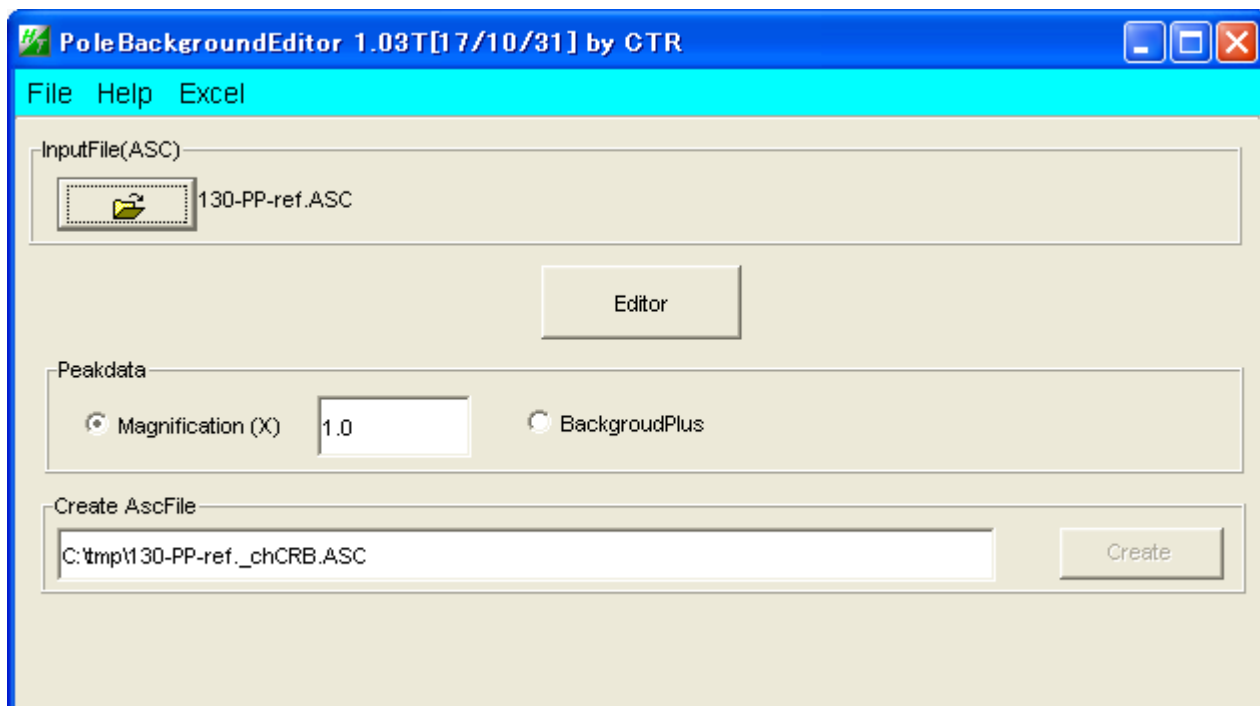
受光スリットを更に細くして再度測定すれば最適なバックグラウンドが得られる可能性があるが、

70度以降のバックグラウンドを編集しても良さそうである。

## プログラムの実行

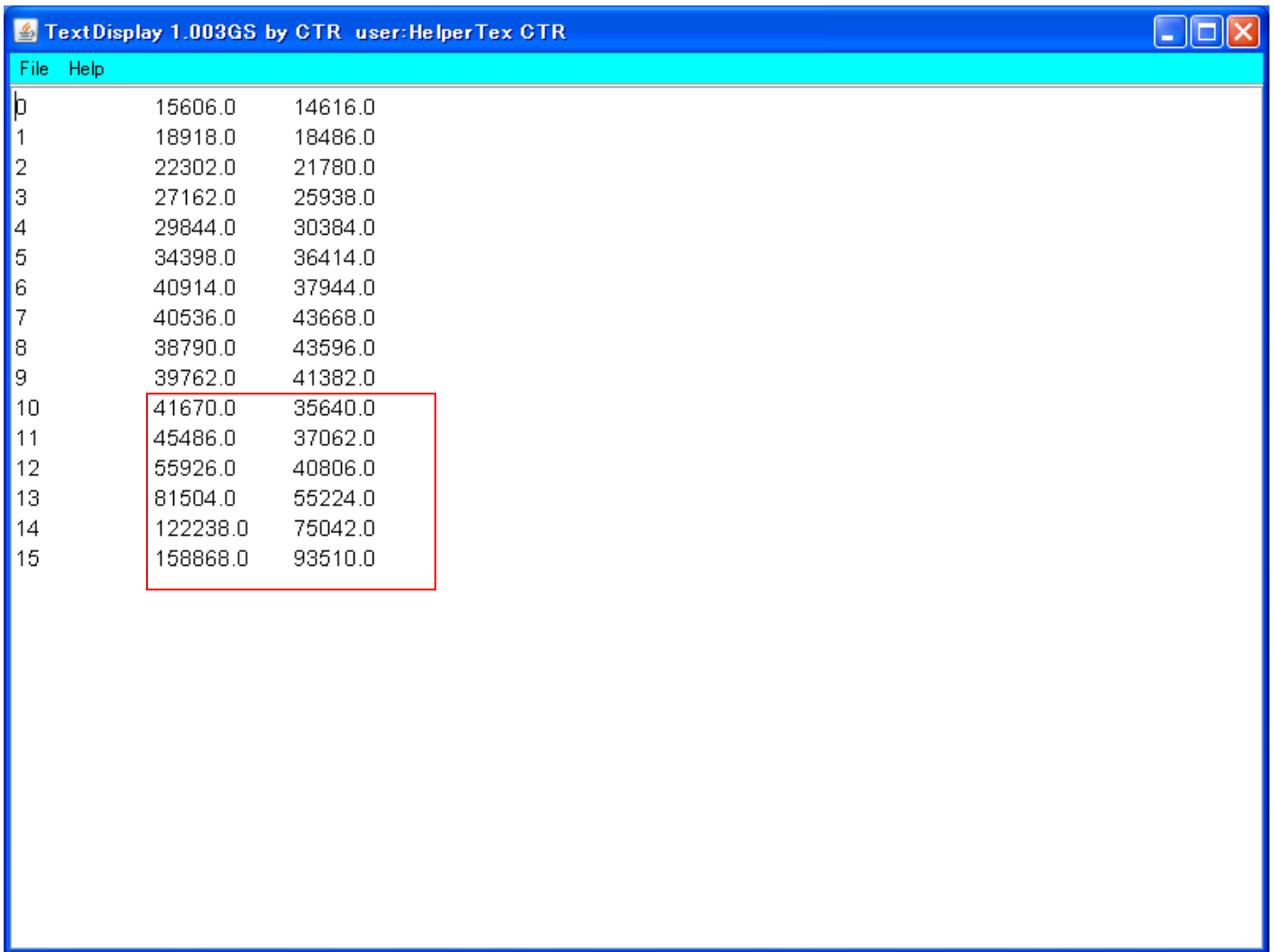


ファイルを指定する。



E d i t o r を起動

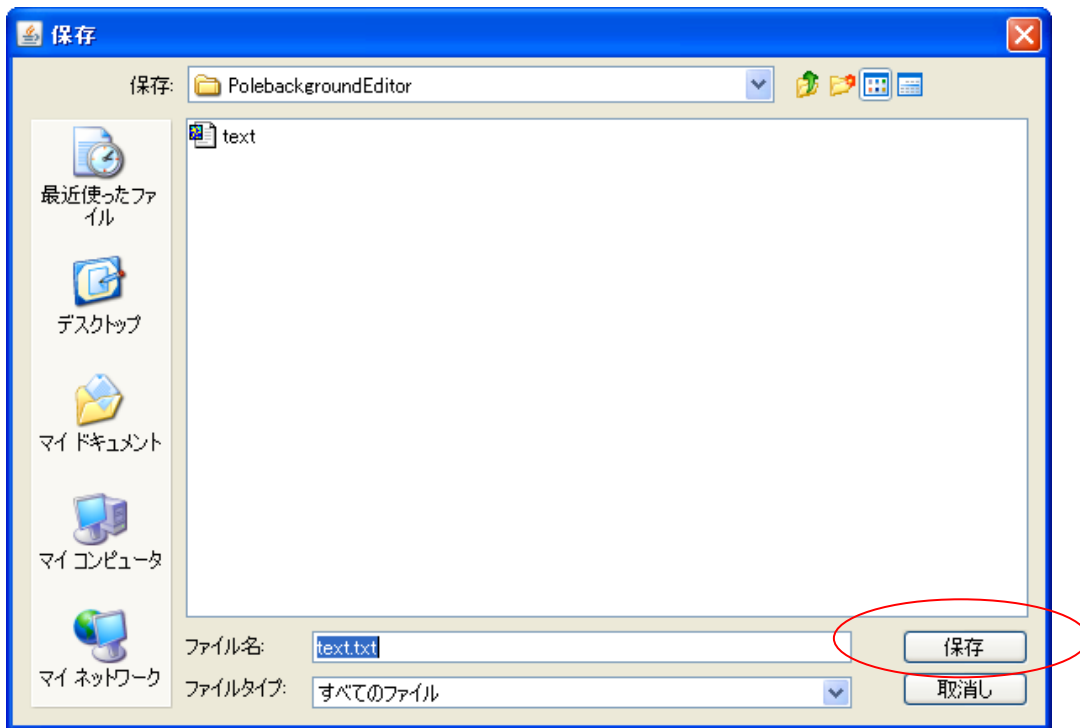
E d i t o r は、C:\CTR\work\PoleBackGroundEditor\text.txt ファイルを仲介しています。  
E x c e l にデータを移し、編集後、上記ファイルに上書きする事も可能。  
データの区切りは t a b を用いています。



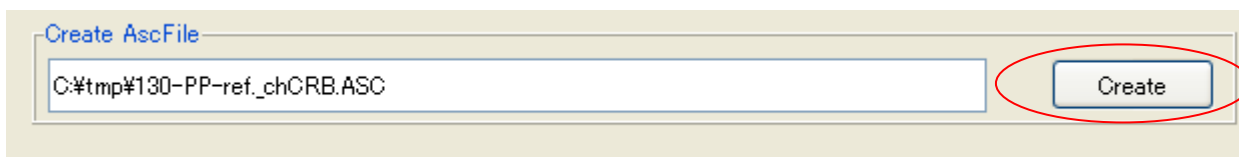
赤い枠の部分を編集する。区切り文字はT a bである。

File	Help	
0	15606.0	14616.0
1	18918.0	18486.0
2	22302.0	21780.0
3	27162.0	25938.0
4	29844.0	30384.0
5	34398.0	36414.0
6	40914.0	37944.0
7	40536.0	43668.0
8	38790.0	43596.0
9	39762.0	41382.0
10	41000	41000
11	41000	41000
12	41000	41000
13	41000	41000
14	41000	41000
15	41000	41000

編集後 save (ファイル名は変更しない)



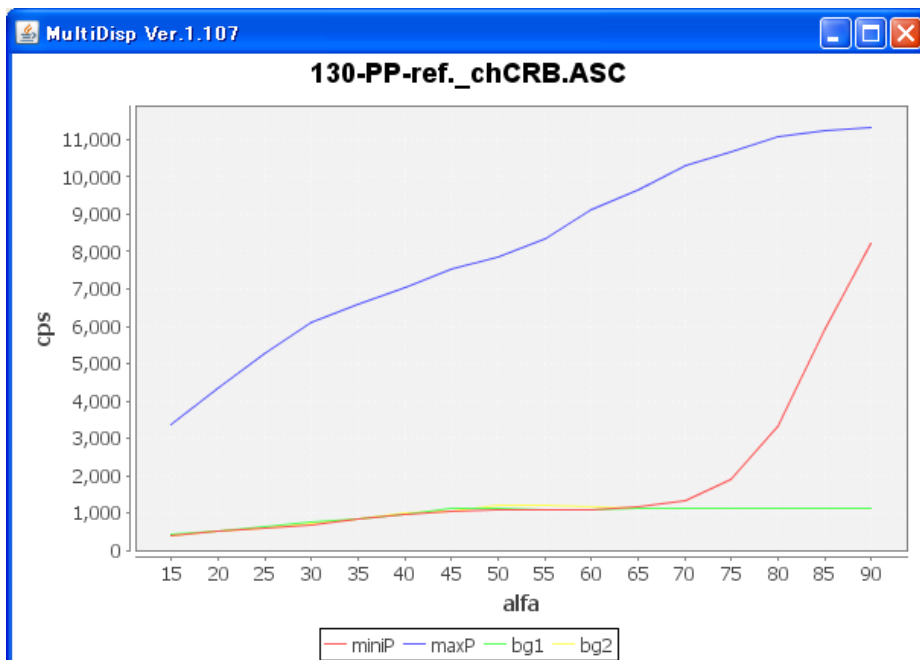
編集したバックグラウンドでASCファイルを作成



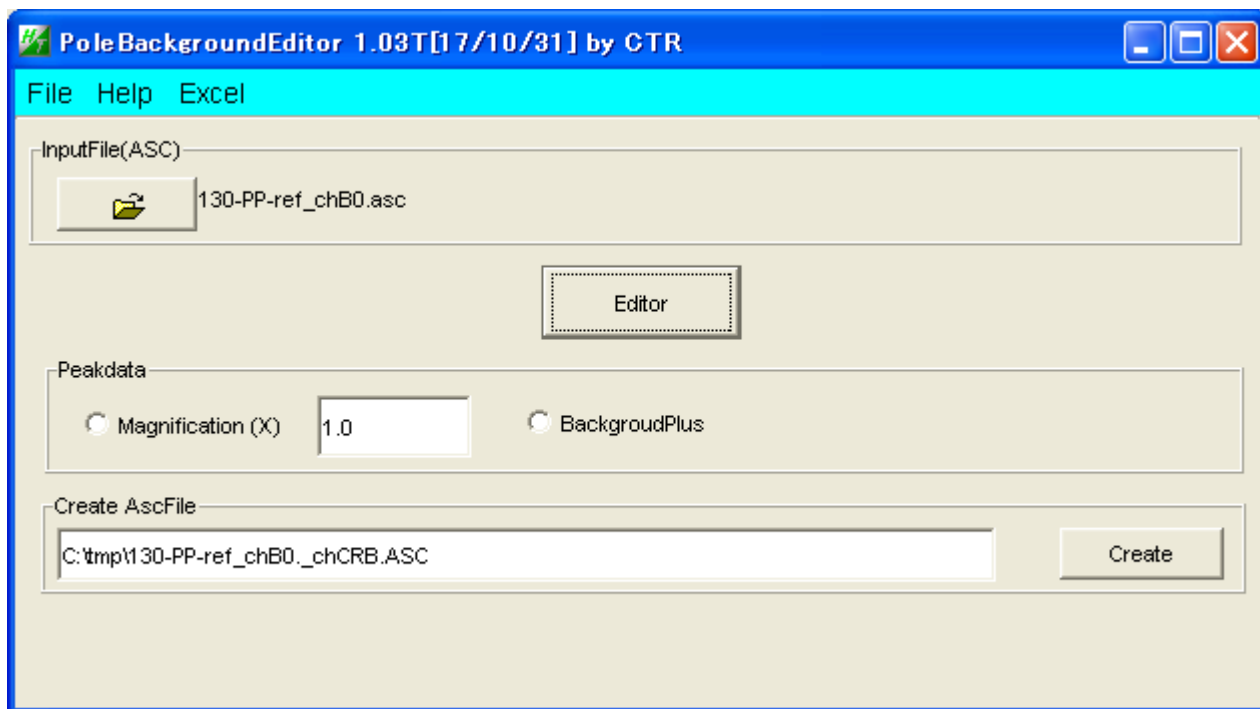
C:\tmp\130-PP-ref.\_chCRB.ASC Created !!

が表示される。

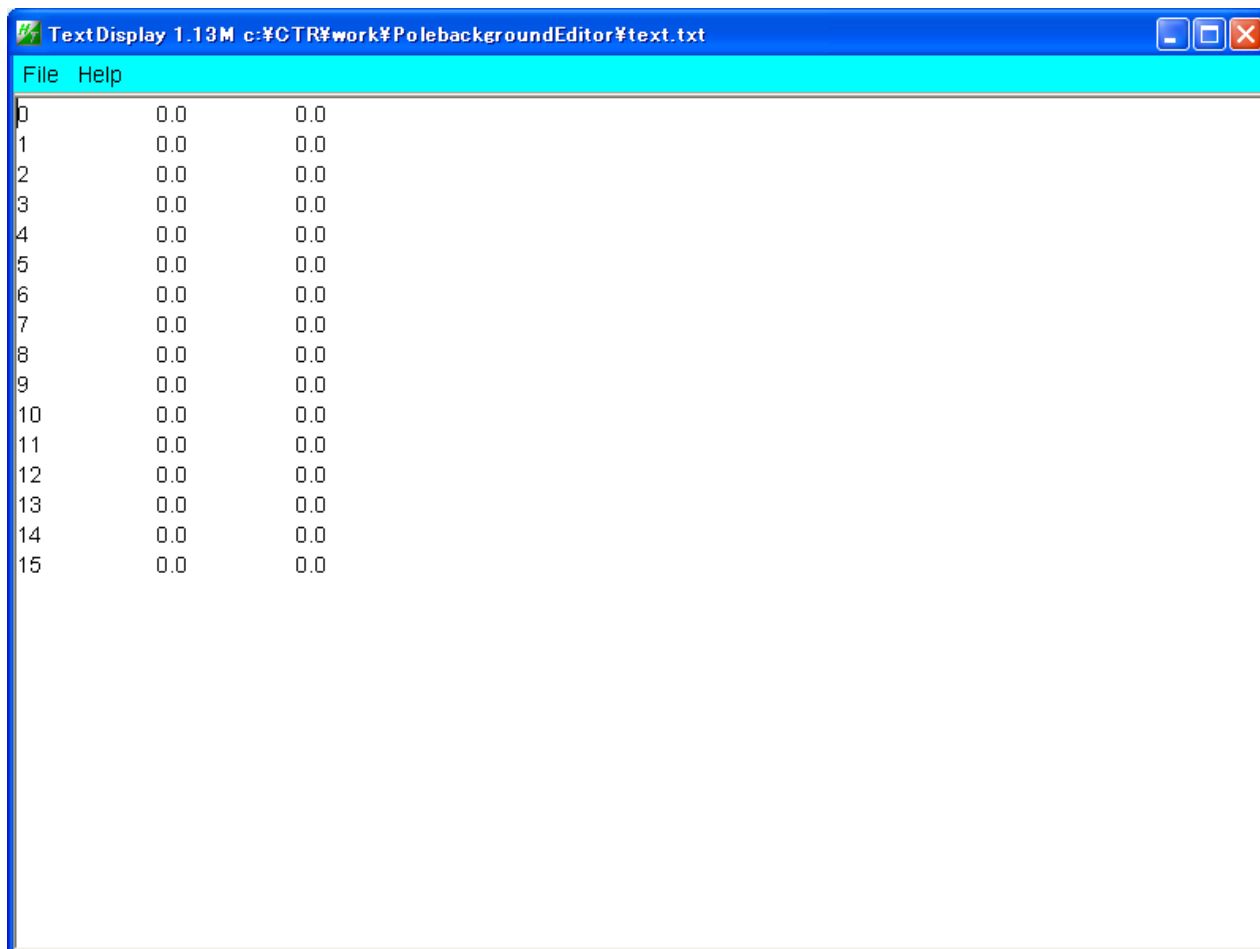
ODFPoleFigureで確認



Ver1.02 で極点図の倍率変更と、バックグラウンドが測定されていない極点図データにバックグラウンドを追加するモードを追加

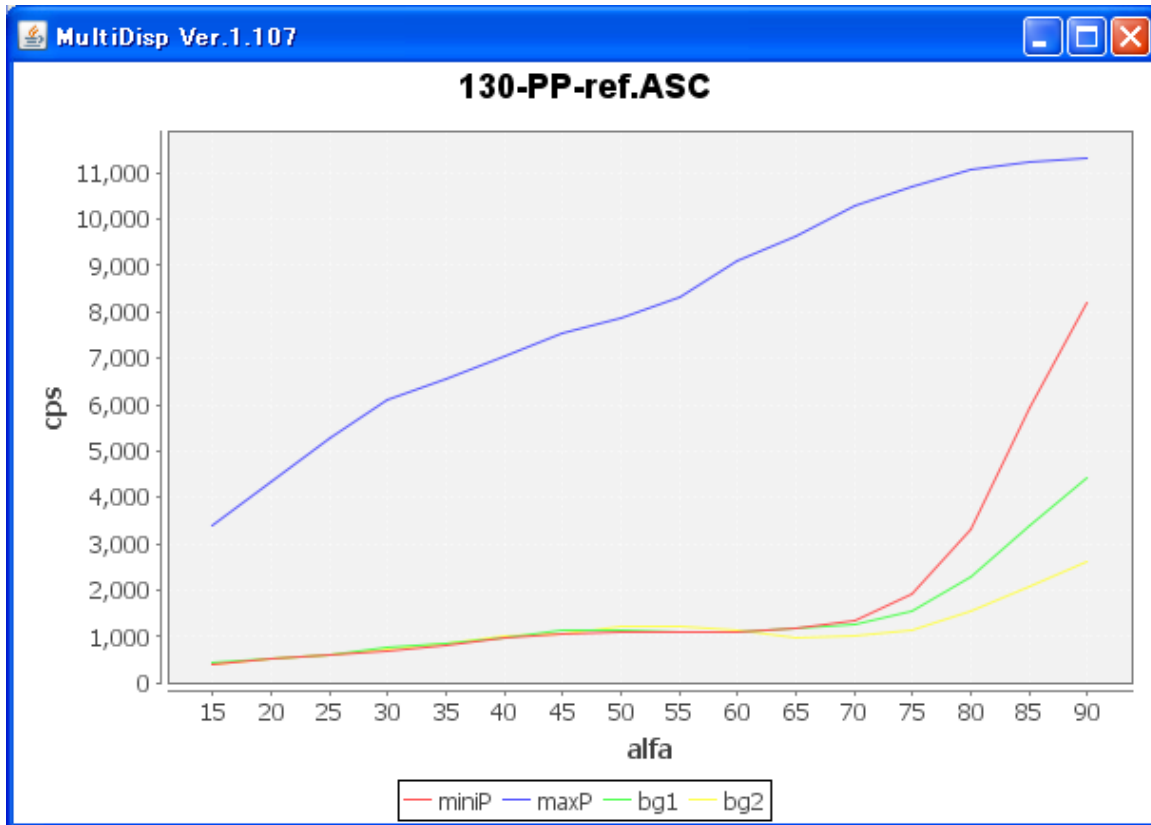


バックグラウンドが測定されていない場合、



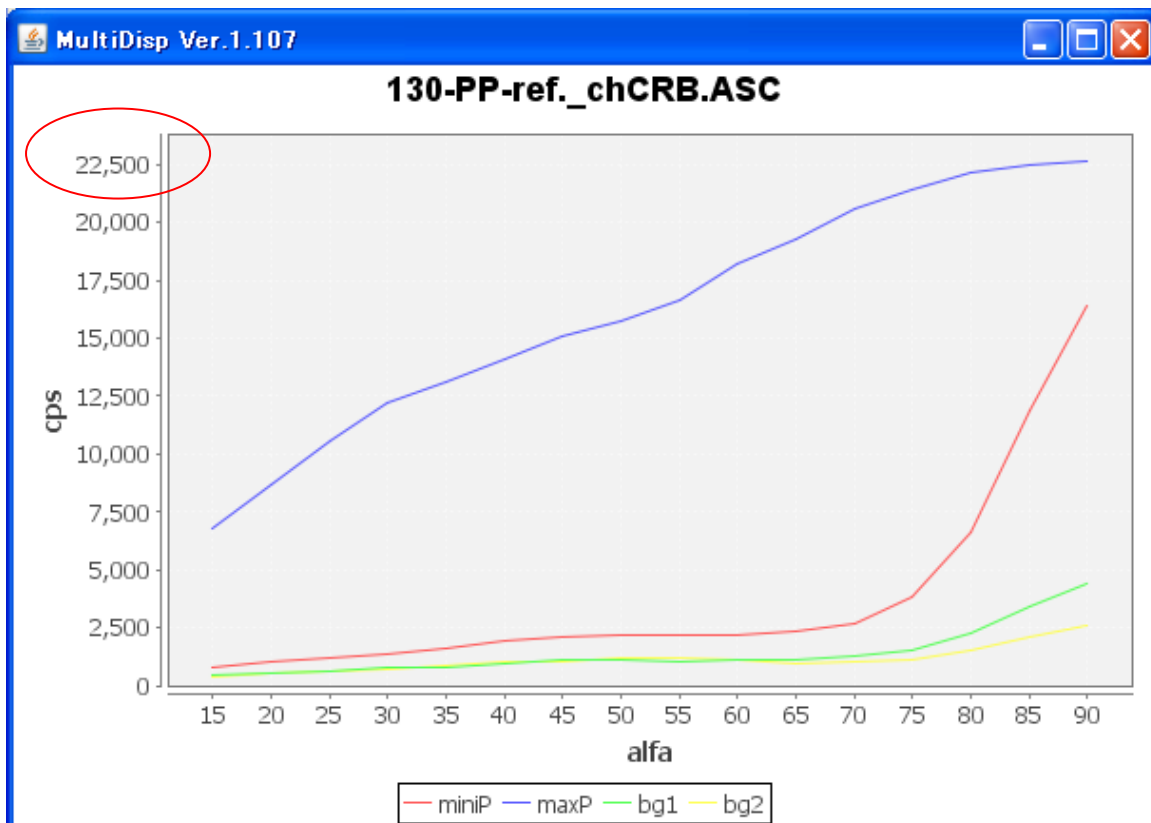
バックグラウンドデータを入力してください。

極点図データの倍率変更

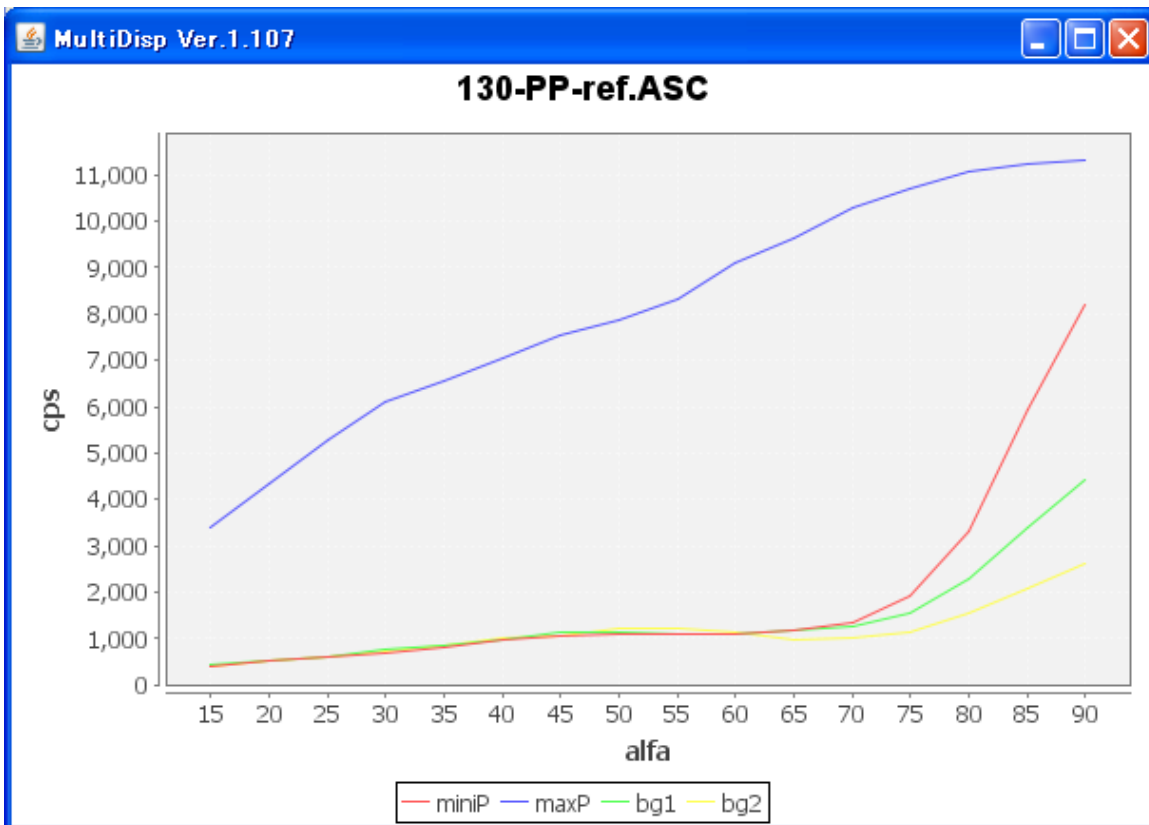


Peakdata

Magnification (X)   BackgroundPlus

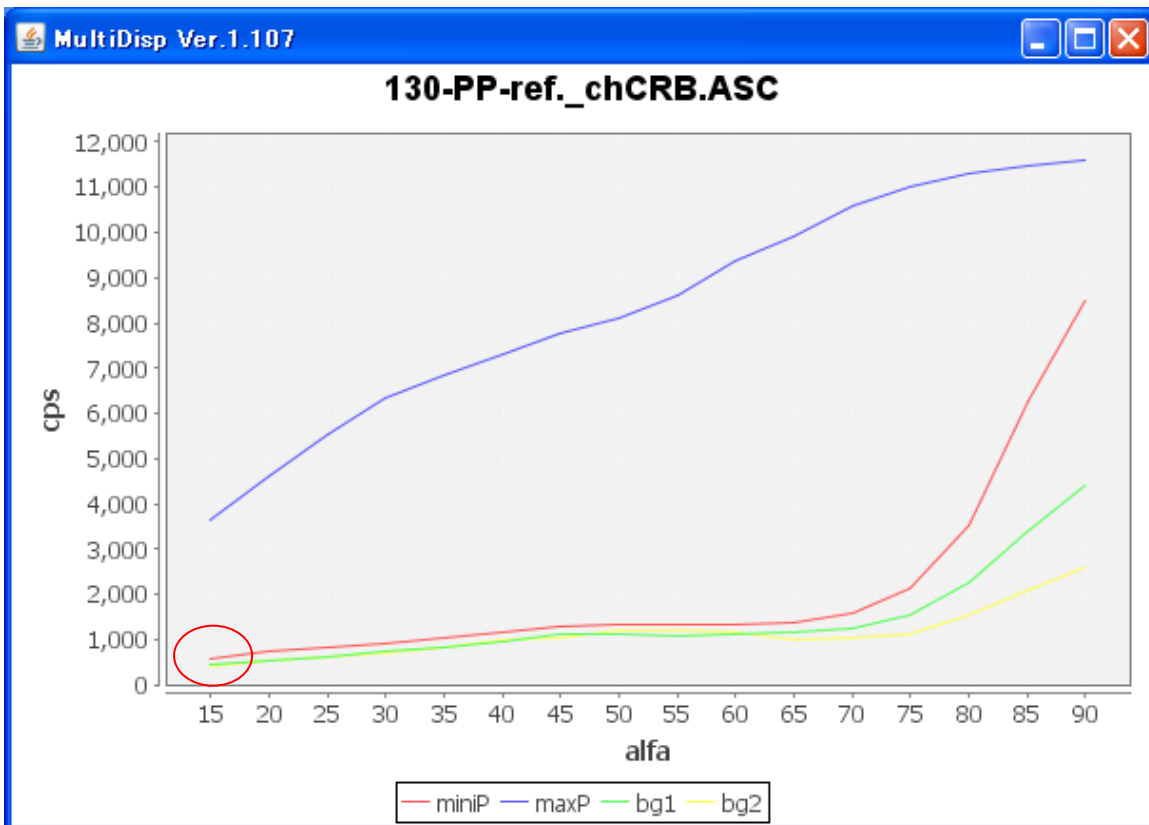


ピークデータのバックグラウンドを加算



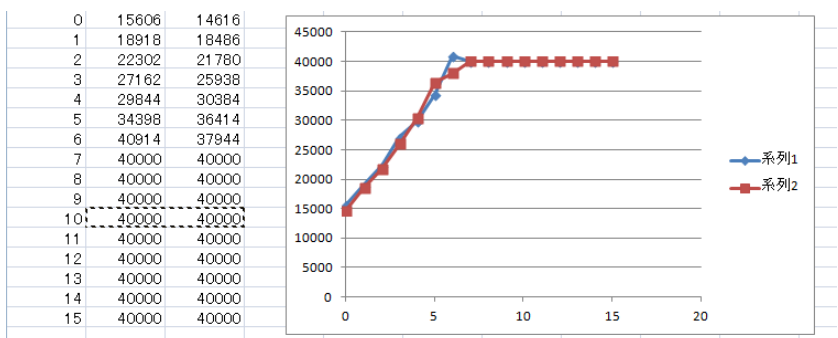
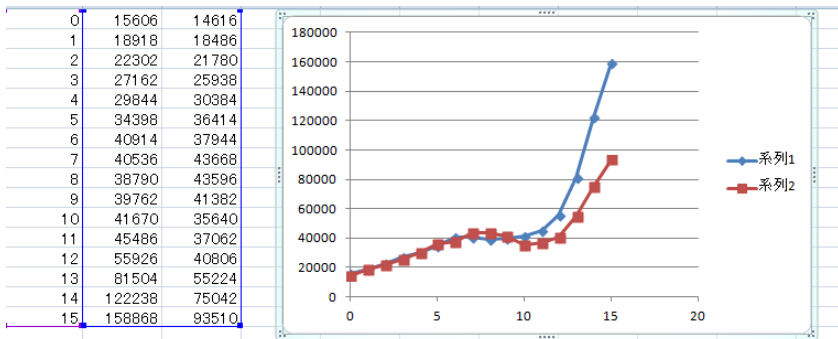
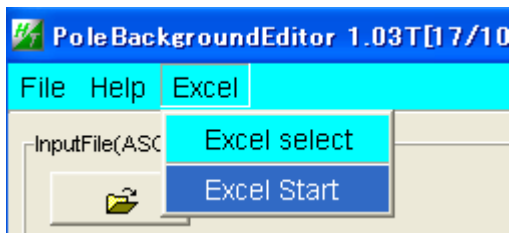
Peakdata

Magnification (X)   BackgroundPlus





Excelで C:\¥CTRL¥work¥PoleBackgroundEditor¥text.txt を編集



編集後のテキストデータを上書きし、C e r a t e する。

ODFPoleFigure 2 ソフトウェアで表示

